

[別紙-3] ポスターセッション

簡易模型制作について

北部ダム事務所 開発調査課 ◎上原 功

○砺山 公貴

1. 内容

土木分野、建築分野における技術者に求められる能力として、イメージ力があると思う。

ここで言うイメージ力とは2Dである図面を用いて、脳内では3Dの物体をイメージする力の事である。これが出来なければ、例を挙げるまでもなく支障を来し仕事にならない。

他にも必要な場面がある。現場である。

技術力向上のため、若手は現場に行けとの声が良く聞かれる。私も、そう思う。しかし、後輩から現場に行っても、何を見て良いか判らないとの声を聞いた。啞然とてしまうが、良く話を聞いてみると彼は現場に行っても、自分の目の前に完成形の構造物が見えていない（イメージ出来ていない）。施工途中の状況が見えていない。手元に図面は有るにも係わらず・・・。だから問題点に気づかないのだ。

私も慣れない構造物は、イメージ出来ないので人の事は言えないのでですが、イメージできるよう努力はします。その一環として、とても有効な物があるので紹介します。

【簡易模型】

私は、イメージできないような状況があれば、簡易模型を良く作成します。

簡易模型と呼んでますが、その意味はちゃんとした模型ではなく、平面図が立体化した程度のものだからです。

しかし、これが有ることにより、完成後の利用時は当然として、その制作過程中も頭の中にイメージを構築する上で、非常に有効となります。

通常の模型で有れば、その作業は非常に大変であり、金額も結構なものになってしまいますが、簡易模型で有れば、製作期間は半日程度で、材料費も1,000円くらいで出来てしまいます。

2. 展示規模・イメージ

展示規模：1 m²程度

写真（右） 盛土形状を変更したため、景観的なチェックの意味も含め簡易模型を作成した。模型でチェック後、さらに設計を変更。

写真（下） 交差点形状、乗り入れ高、切土部の排水を簡易模型でチェック。使用後は、用地買収時の住民説明に利用。（判りやすいと、住民からは好評）

